

トンボみちの秋 足早に季節が過ぎてゆきます…

秋がだんだんと深まってきましたが、今年の秋をどのようにお過ごしでしょうか？ お忙しくて、なかなかトンボみちに来られない方のために、この秋のたたずまいを写真とともに送ります。

まずは秋の定番の**コスモス**。8月の月例活動日に植えた苗が、赤紫・ピンク・白の小ぶいな花を咲かせて風にゆれています。その横にはセイタカアワダチソウが1本仲良く(?)寄り添って黄色い花を付けていました。



コスモス

珍しいところでは、**タラノキ**や**仙人草**の花が見られました。春のタラの芽ばかりが目立っていましたが、その花は秋に咲くのです。仙人草はオオムラサキツツジの剪定とともに春にバツサリと根本まで切られたのに、生き残ってくれました。



タラノキ

続いては、**ミムシ**です。コウリヤナギの枝にひとつだけポツンと早々と冬ごもり。そして、多数派の**アキアカネ**に混じって、少数派の**シメトンボ**が青空を背景に凜とした姿を見せてくれます。



仙人草

写真から、トンボみちの秋を少しだけ感じていただけたでしょうか。来たる**10月25日(土)の月例活動日**には、末広地区緑のまちづくり協議会からいただく**花苗**をみんなで植えますので、ぜひお出かけください。(銀)



ミムシ



シメトンボ♂

【連載②】トンボ百科 ～ あなたもちょっとトンボ博士? ～

今月は、トンボ博士がトンボの体の色についてスバリ答えます。

②トンボの色、いろいろ

Q1. トンボは成熟すると色が変わるのはなぜ?

一般にトンボの体色は、羽化後成熟するまでの期間は雄雌よく似ているのが普通で、性的に成熟すると性差がはっきりしてくる。シオカラトンボも未成熟の時期は雄雌ともに麦わら色だが、成熟すると雄はおなじみの白い粉をまとった姿に変身する。ショウジョウトンボや多くの赤トンボも成熟して赤くなるのは雄だけだ。こうした発色は、トンボの配偶行動(結婚行動)の際の雌雄認識に使われると言われている。

(文責:田口正男農学博士)

Q2は11月号に続きます。



シオカラトンボ♂

※この「トンボ百科」は、横浜市環境保全協議会発行の「かんきょう横浜」から転載しています。

(シリーズ) トンボみちの仲間たち

9月27日(土)のファンクラブ活動の様子です。(撮影:山田さん)



マイガーデンの草取り



大根の種まき



記念植樹の早生ミカンを試食



落花生の収穫



落花生を調理しました



ファンクラブのみなさん

みんなでいただきました

活動予定 ※雨天は1週間延期
今月:10月25日(土) 10時～12時
来月:11月22日(土) 10時～12時
事前の申込みは不要です。誰でも参加可能!

トンボみちファンクラブ 公式ホームページ
<http://tombomichifc.jimdo.com/>

JFEトンボみち ファンクラブ通信 2014年10月号
発行日:2014年10月22日
発行者:トンボみちファンクラブ通信事務局
事務局:〒230-8611 横浜市鶴見区末広町2-1
JFEエンジニアリング(株)総務部 施設管理室
Tel045-505-7447, Fax045-505-6546
ファンクラブ通信への自由投稿をお待ちしています。



京浜の森ロゴマーク

ファンクラブ通信に使用しているリサイクル用紙は、古紙パルプ配合率100%です。